

2022年1月28日  
SCSK株式会社

---

## SASE「Cato クラウド」のセキュリティ・マネージドサービス機能を強化 ～SOC サービスの日本語対応、CSIRT 支援サービスなど 防御から検知・対応・復旧までソリューションを整備～

---

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:谷原 徹、以下SCSK)は、SASE<sup>\*1</sup>の概念を実装したネットワークセキュリティクラウドサービス「Cato クラウド」のセキュリティにおける検知・対応・復旧を強化する各マネージドサービスを 2022 年 1 月 28 日より提供開始します。

※1 SASE(Secure Access Service Edge、サッシー):

ネットワークサービスとネットワークセキュリティサービスをクラウド側から提供することで、アクセスする企業の通信を安全かつ最大に活用するための概念

### 1. 背景

2021 年 1 月、SCSKは SASE プラットフォームのリーディングベンダーである Cato Networks 株式会社のパートナープログラムに加入し、これまでに 30 社以上のお客様へ Cato クラウドの提案・導入を行ってきました。現在もお客様から多くのお問い合わせをいただいております。今後も引き続き SASE 関連ソリューションの導入が増加することが見込まれます。一方で、専門機関のレポートによると、国内におけるセキュリティインシデントはテレワークなどのニューノーマルな働き方を狙った攻撃などにより、ここ数年で増加傾向にあります。

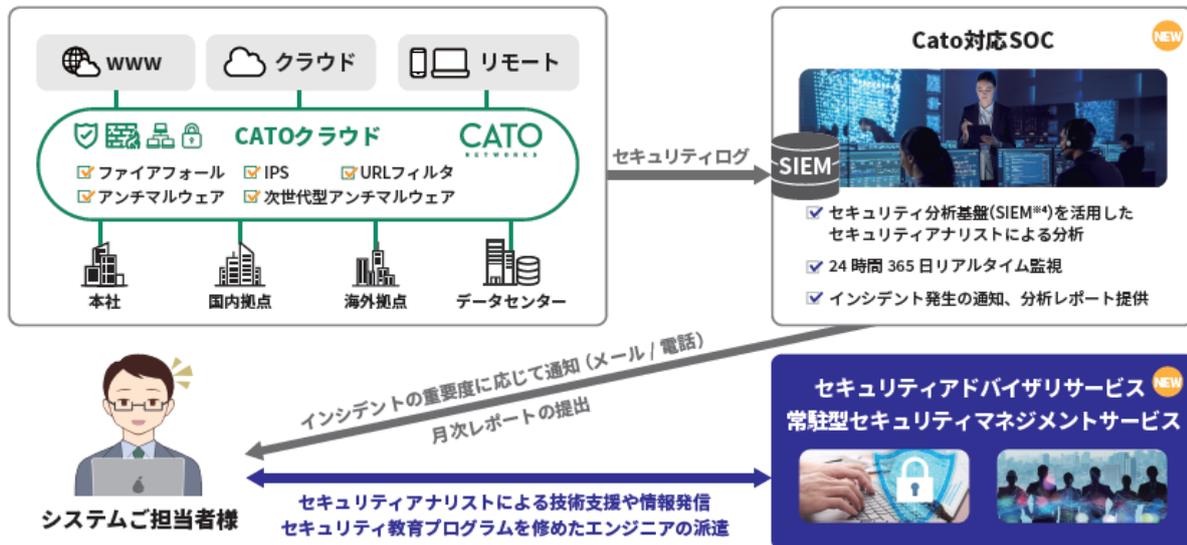
このような状況において、SCSK ではお客様に安心してより一層コア事業に注力いただくべく、このたび専門的な知識が必要とされるセキュリティ・マネージドサービスの強化に至りました。

### 2. Cato クラウドサービス強化ポイント

SCSKは、これまで提供してきた Cato クラウドの初期導入サービス、運用/保守サービスに加え、Cato クラウドのセキュリティフレームワークの「防御」機能、さらに「検知」において完全日本語化対応した SOC<sup>\*2</sup> サービスを Cato クラウドに対応しました。また「対応」「復旧」においては、CSIRT<sup>\*3</sup> をリモートでご支援する「セキュリティアドバイザリサービス」と、お客様先に技術者が常駐し CSIRT を支援する「常駐型セキュリティマネジメントサービス」を、Cato クラウドご利用のお客様のニーズに応じて提供します。

## ■ Cato クラウド向け セキュリティ・マネージドサービス

※ **NEW** マークが、今回強化した機能になります



### CSF (サイバーセキュリティフレームワーク)



※2 SOC(Security Operation Center):

24時間365日監視し、外部からの攻撃などのセキュリティ事象の発生に備える組織。

※3 CSIRT(Computer Security Incident Response Team):

コンピュータシステムやネットワークに保安上の問題につながる事象が発生した際に対応する組織。

※4 SIEM(Security Information and Event Management):

さまざまな機器やソフトウェアの動作状況の記録(ログ)を一元的に蓄積・管理し、脅威となる事象をいち早く検知・分析するもの。

### <Cato 対応 SOC サービス>

Cato クラウドの各種セキュリティ機能(Firewall、URL フィルタリング、IPS、アンチマルウェア、次世代型アンチマルウェア)のログを SIEM へ取り込み、24 時間 365 日リアルタイム監視・分析を行います。セキュリティアナリストがインシデント重要度を判断し、事前に取り決めたルールに従い、お客様へ電話/メールで通知を行います。

- ・電話/メールによる通知はすべて日本語で対応
- ・日本語によるSOCポータル提供
- ・日本カレンダー、日本時間への対応(例、翌営業日の電話連絡)
- ・SIEMでのログ保管期間延長(一年対応)
- ・月次レポート作成、および報告会開催

### <セキュリティアドバイザリサービス>

セキュリティアナリストが、平時のセキュリティに関するご相談から、有事のインシデント対応支援や初動対応など、お客様のセキュリティ課題解決の手助けを行います。

SOC から通知のあったインシデントに対して、ログ分析、ウィルス検体調査、不審メール調査など、お客様のご依頼に応じた各種サービスをリモートで提供します。

- ・技術支援・・・お客様から依頼いただいた情報の調査・分析、セキュリティアナリストの知見を提供
- ・情報配信・・・定期・不定期にセキュリティ情報を提供

### <常駐型セキュリティマネジメントサービス>

システム運用経験を持ち、SCSKのセキュリティ教育プログラムを修めたエンジニアがお客様のセキュリティ部署に常駐。お客様のシステム環境を理解したエンジニアをセキュリティアナリストが後方支援することで、セキュリティインシデントに対して適切に対処します。

## 3. 売上目標

今後3年間で10社への提供を目指します。

### Cato Networksについて

Cato Networksは、SD-WANとモバイルアクセス環境およびエンタープライズレベルのネットワークセキュリティをグローバルクラウドサービスとして提供しています。Catoクラウドは、ガートナーのSASEフレームワークと連携して、すべてのデータセンター、ブランチ、モバイルユーザー、およびクラウドリソースを俊敏で安全なグローバルネットワークに接続します。Catoのクラウドネイティブアーキテクチャは、お客様のビジネスのペースに合わせて進化させることができる将来性のあるネットワークを提供します。Catoを使用することにより、お客様のビジネスのためのネットワークは、次に来るものすべてに対応できます。

<https://www.catonetworks.com/jp/>

### 本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

ソリューション事業グループ

マネジメントサービス第三事業本部

流通マネジメントサービス第一部

E-mail: [cato-sales@ml.scsk.jp](mailto:cato-sales@ml.scsk.jp)

<https://www.scsk.jp/product/common/cato/>

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

企画本部 広報部 栗岡

TEL:03-5166-2169

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。